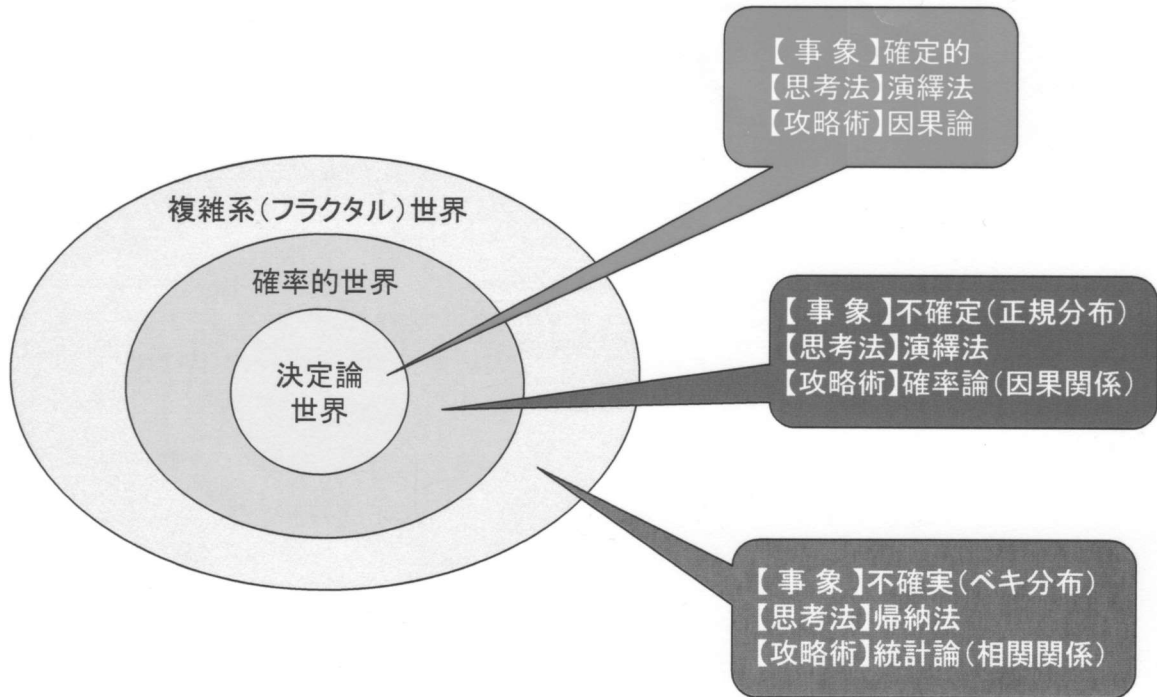
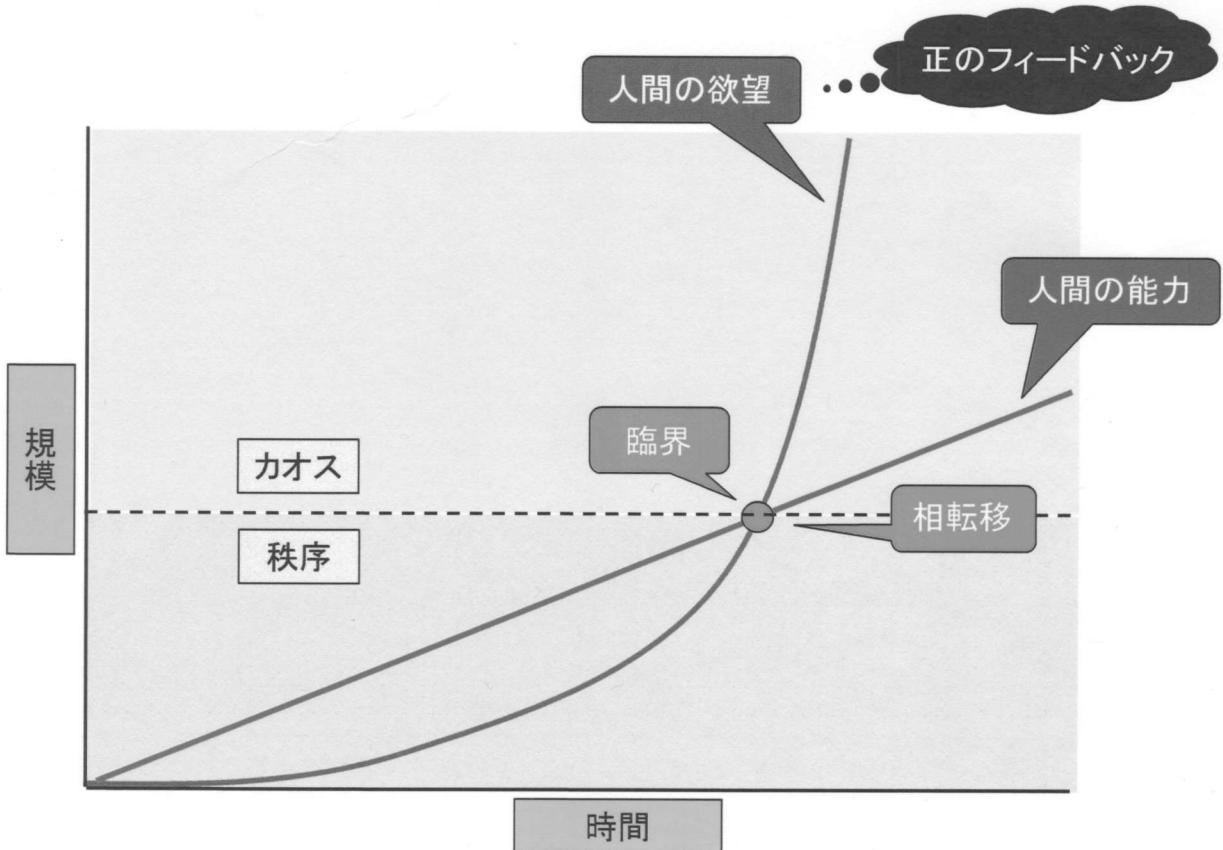


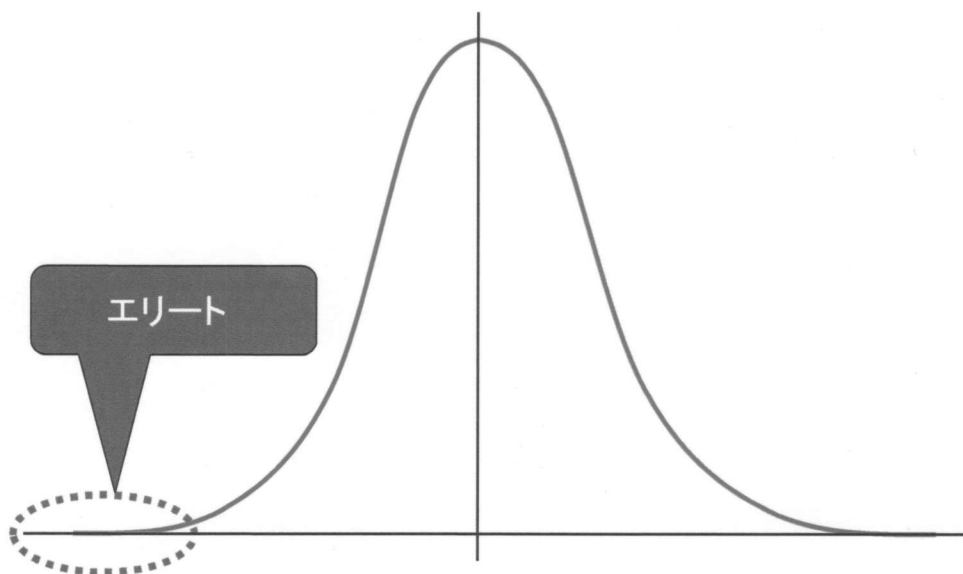
マンデルブロの世界観



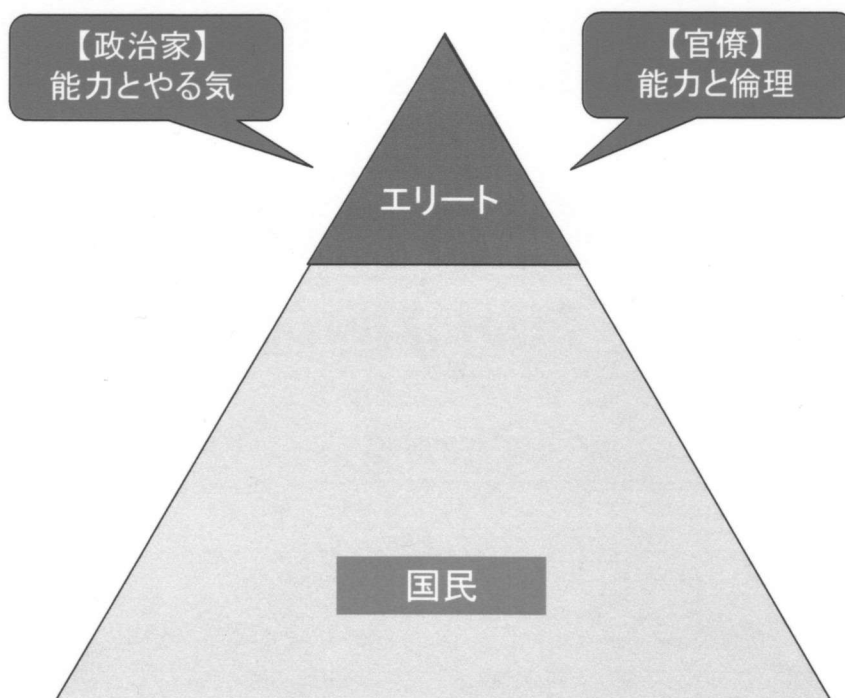
「相転移」と「再帰性」



エリートとは



政府の組織構造



一般社会と政界は原理が違う

佐藤 じゃあ、今の日本の問題は何かという質問について考えてみようか。

東京大学の法学部をトップで卒業したら、そのまま首相になれるか、政界の中で力をつけることができるかといったら、そうじゃないよね。だって今の総理大臣と官房長官は、通っていた学校の偏差値で言ったら五〇台前半くらいの人たちだ。

となると今の日本の状況から考えて、彼らは普通の民間企業に就職したならば、おそらく年収五〇〇万円に届かないような地位にいる人たちということになる。学歴やキャリアが大きく影響する一般社会とは違う原理が、政府首脳たちのいる世界では働いていることが分かります。

去年も話したことだけど、ひと昔前まではエリート高校出身の人間って選挙へ打つて出るには非常に不利だったんですよ。商業高校や工業高校、偏差値が五〇台半ば以下の高校のほうが圧倒的に有利なんです。どうして？ そういう学校は自分たちの仲間の中からぜひ代表を送りたいと、同窓会ネットワークの結束が固いんだよね。

ところが皆さんたちにとっては、同窓生が選挙に出ようと「別に」って感じでしょ。自分たちの仲間を送り出すことによつて、なにか母校のためにプラスになるわけでもないし、汚職でもやって学校の名前に傷をつけたりしないといけどな、くらいの眼で見ている。それでは応援活動につながらない。

「俺の言うとおりにやれ！」

佐藤 とすると、ここですごく深刻な問題が出てくるよね。エリートによる国家の運営と、いわゆる民主主義的な選挙制度が、必ずしもうまくかみ合わないわけだ。

旧来の自民党政権のときは、うまくごまかしていた。内閣総理大臣は「選挙を通じて選ばれた内閣総理大臣」の顔と「資格試験を合格してきた官僚の指揮命令をする最高責任者」の顔、二つの顔を持つわけだけれど、エリート官僚は政治家に日本の舵取りを任せたら国が沈没すると真剣に思っているから、政治家に口出しをさせない。それでこれまでは「名目的な権力者は総理大臣、実質的な権力者は官僚」という形で、使い分けながらうまくやって来た。でも今、その使い分けがうまく機能しなくなった。

生徒 それはどういうことでしょうか。

佐藤 安倍さんの持つ反知性主義が日本を動かし始めているから。反知性主義は必ず決断主義という形で現れてくる。

生徒 決断主義？

佐藤 実証性や客観性を無視して、とにかく決められる政治が強い政治なんだ、という発想です。つまり「細かいことはいいから、俺の言うとおりにやれ！」ということ。

たとえば、憲法改正をめぐる問題。安倍さんは、各議院の総議員の三分の二以上の賛成と国民投票で過半数以上の賛成がなければ憲法改正ができないと規定した憲法九六条は改正する必要があると、何度も熱心に言っていたよね。でも、えらくあっさり引つ込めちゃった。その代わりに今度は何をやろうとしている？

生徒 解釈改憲ですか？

佐藤 そう。九条の解釈改憲をやつて九条を無力化しようとしている。ポイントになっているのは集団的自衛権だよ。集団的自衛権を行使したいがために言い出したわけだけれど、しかし今議論しているのは現行憲法で限定された条件下での集団的自衛権でしょ。それは本来の集団的自衛権に当てはまるかな？ 憲法の縛りがある状況での集団的自衛権は、個別自衛権になるよね。それは論理が崩れているよね。しかし、安倍総理は論理が崩れていることに気がつかない。

「君たちが知っておくべきこと」 (佐藤 謙) 2016.7.30

森友問題は、能力がなくてやる気のある政治家と、
能力があつて倫理観の欠如した官僚によって起きた案件なんだ。

鈍感力も実力のうち

佐藤 たとえば森友問題。官僚が公文書を書き替えるなんて事態がどうして起きると思う？
生徒 官僚の人事を決定するのは内閣だから、内閣にとって不都合な事実を隠すのは官僚の
自己保身だったのかなど。白いカラスでも内閣が言えは黒になる、という感じで。

佐藤 それが大多数の見方だろうね。けれど私はそうは思わない。今回ばかりは内閣は噛ん
でいないと見ている。付度も、広い意味ではあつたかもしれないけれど、積極的には為され
ていなかったらう。結局は財務官僚の驕りが招いたのだと考えています。

要するに、最初に森友学園に関する答弁をするときに、財務官僚は確認もしないまま、そ
んなものには関与していないし、価格交渉もなかつたという答弁書を作つちやつたわけ。と
ころが野党がねちっこく聞いてくるんで調べてみたら、実は価格交渉もしているし、ものす

ごく細かいやり取りがあつた。

それが分かつた瞬間、理財局長だつた佐川宣寿さんは怒鳴つたと思うよ。「てめえ、この
野郎、なんでこんな文書作りやがつたんだ！」「なんで俺に先に知らせていないんだ！」と。
その怒りに部下たちがビビりあがつて、文書をいじつちやつたんだと私は睨んでいます。

だから佐川さんは国会で、改竄前の決裁文書を見たか見ないかも言わないでしょう。それ
は「いつ見たか」というところに原因があるからだよ。

怒鳴るやつも怒鳴るやつだけど、怒鳴られた方もビビりあがつて文書を直すようなことを
してはいけないってことだよ。そういうときには、ある種の鈍感力が必要なんだよ。

2019.3.30

佐藤 俊

「君たちが忘れてはいけないこと」 (佐藤 俊)

外務官僚はいま、安倍内閣のために一生懸命仕事をしないんだよ。

役人が我慢できること、できないこと

生徒 日本外交の信じがたい下手さ。その原因はどこにあるんですか？

佐藤 反知性主義ですよ。周辺国の発言に対して脊髄反射みたいに慌てて反応するだけで、相手の内在的な論理を見ずに分析している。合理的に推定すればわかるはずなのに、それをやらない。もちろん外務省はできるよ。しかし外務官僚はいま、安倍内閣のために一生懸命仕事をしないんだよ。

佐川さんを見てごらん。忖度して「安倍政権は関与していない。昭恵さんも関与していない」って一生懸命頑張ったわけですよ。ところが、どういう目に遭わされた？

辞任させられ、自宅にも帰れず、毎日マスコミから逃げ回らないといけない。そのお金を役所が出してくれるわけでも官邸が出してくれるわけでもないし、捕まる可能性だってある。晒し者にされ、上司である麻生さんからは「佐川」と呼び捨てにされ。そんな目に遭わされるくらいなら、バカのふりして「できませんでした」「わかりませんでした」って言うほうがいいじゃない。外務官僚はそんな風に考えているよ。

これは国民にとっては大きなマイナスです。しかし、いまの安倍政権の状況で、外務官僚が総理に、「これはもう北朝鮮が核兵器を持つのは確実です。日本はアメリカと安全保障環境が違います。北朝鮮は既に中距離弾道ミサイルの開発に成功していますから恐らく日本全域

が射程におさまります。核の小型化が成功したら、ミサイルに核弾頭が搭載されます。向こうが能力を備えた以上、それを実力で阻止することはできませんから、日朝国交正常化交渉を考えるしかありません」と進言したら、「うるさい、下がれ。もう来ないでいい」って話になる。だから合理的には正しいと思っただって誰もそんなこと言わないよね。

生徒 結局、外務官僚は保身に走っているんじゃないですか？

佐藤 外務官僚だって国のために仕事はしたいさ。それは財務官僚も同じだし、官僚ならみんなそう思っている。ただリスクとの兼ね合いがあるからね。

たとえば、出世しないことが確実なポストに就けられたとしても、たいていの役人は我慢するよ。しかし国会で晒し者にされ、職を追われて、まともな生活も送れない。そこまでのリスクを取りたいとは誰も思わないよ。家族だっているんだ。それはそういうものさ。

「君たちが志しにくいこと」(佐藤優) 2019.5.30